

No.314



一般社団法人

青森県理学療法士会ニュース

東北ブロック所属県理学療法士会会長緊急対策会議報告

県士会長 伊藤 和夫

日時：平成23年4月16日（土） 13:00～15:30

場所：盛岡地域交流センター マリオス18階会議室

参加：伊藤，安田理事（青森）

各県士会長；渡邊（宮城），桜田（岩手），多田（山形），山口（福島），高橋（秋田），
さらに各県士会より1名参加，他；半田協会長，協会事務局

議事：1.被災状況及び県士会活動状況，実習施設不足対応

2.日本理学療法士協会の活動状況（協会ホームページ参照）

3.報告及び検討事項

1) 士会への緊急援助金（H22年度，23年度，岩手，宮城，福島）

2) 被災会員への財政的支援（400名分計上，士会費50%補填，被災会員見舞金）

3) 県士会による支援活動補助（東北各県へ，金額は要検討）

4) ボランティア（第一次応募者130名逐次派遣予定）

5) 会員による義援金（活用方法の検討）

6) 公的機関への支援金

7) 就職先斡旋（東京都士会，NPO全国在宅リハ考える会，現地雇上げなど）

4.その他

報告：標記の会議が緊急に招集されましたので，簡単に報告いたします。ただし，財政的数字は協会理事会での検討事項ですのでここでは省略いたします。会議の前に本土会からの見舞金を手渡しています（宮城，岩手，福島県士会へ）。

既に皆さんもご存知とは思いますが，協会では災害対策本部が設置され活動が開始されています（詳細は協会ホームページ参照願います）。今回は，協会が東北6県の代表から今後の対策事項について要望意見を伺うために招集されました。会議では，半田協会長が司会を務め，各県の情報交換を行いました。冒頭協会長からは，茨城県も含まれるとの報告がありました。青森，秋田，山形に関しては会員の被災などはありませんでしたが，宮城，岩手，福島の3県については被災内容が異なる部分もあるものの，今後も継続した対応が望まれます。現状では安否確認された会員，情報提供，交換が途絶えている会員や消息不明の会員もいるとのことです。

検討した主な内容は，主に財政的なものが大半でしたが，支援物資の中に，レンタカーや携帯電話も要望されました。杖やシルバーカーに関してはもう少し先でも良いのではという意見も出されました。本土会には，岩手県北の支援が可能かどうか問われましたが，岩手県士会と連携しながら検討したいと返答しました。

5月，宮崎学術大会の前日に全国士会長会議が緊急に招集されています。ここで最終的に今後の対応について確認される予定です。

最後に岩手士会の櫻田会長から今秋の東北学術大会についての提案がなされ，討議の結果，プログラムを縮小して一日開催で実施されることを確認し終了しました。以上概略を報告いたします（青森～盛岡間，往復新幹線日帰り）。

平成22年度 青森県理学療法士会三役会議事録要約

事務局長 後藤 明教

日 時：平成 23 年 3 月 26 日（土）10：00～12：30

場 所：あおもり協立病院 リハ室

出席者：伊藤和夫，川口徹，相馬光明，後藤明教

案 件：

1. 東日本震災についての被害状況について
 - ・平成 23 年 3 月 11 日（金）に発生した地震・津波による会員の被害状況を把握
 - ・県士会会員は幸運にも皆無事であった。但し，仙台や茨城県，北海道へ出張中の会員は避難所に宿泊したり交通手段がないため帰省するのに 4～5 日要したようである。
また，県内各施設においては，医療材料の不足や重油やガソリン不足により診療に支障をきたしていた。3 月 28 日頃からは，概ね平常診療に戻りそうである。
 - ・三八地区の避難所の状況を把握してもらい，今後の支援活動を検討する方針である。
 - ・震災に対する会長談話をホームページや連絡網で周知する。
2. 協会義援金および東北ブロックで被災した県士会へのお見舞いについて
 - ・今後，当県士会会員へ募金を働きかけるが時間を要するため早急の対応として，日本理学療法士協会への義援金として，10 万円を拠出する。
また，東北ブロックの中でも被害の大きかった岩手県士会，宮城県士会，福島県士会に対し，見舞金として 10 万円ずつ拠出することとする。
 - ・東北ブロックの緊急対策会議のあとに，会員への募金や支援を検討する。
3. 東日本大震災における緊急対策会議への出席について
 - ・4 月 16 日（土）13：00～ マリオス（盛岡地域交流センター）で開催予定
 - ・各県士会より，会長を含め 2 名の参加要請が来ており，当士会からは伊藤会長と，今回被害が大きかった八戸支部の安田理事に出席してもらうことで調整中
4. 第 35 回青森県理学療法士学会の順延時期について
 - ・6 月 18 日（土）県士会総会が以前より予定されていたので，会場を弘前大学保健学科とし，次の日の 6 月 19 日（日）に第 35 回県士会学会を開催する運びで調整してもらう。
5. 今後の県士会活動への対応
 - ・新入会員ガイダンス&研修会
すでに日程調整し，講師も決まっていることから予定通り開催する。
但し，歓迎会は自粛し，夕食会程度にとどめる。
6. 役員選挙について
 - ・新定款のもと，役員選挙は理事 4 名以上 15 名以内（理事の中から会長を互選），監事 2 名以内を選出することになる。告示が総会前 60 日なので，選挙管理委員会へ準備をお願いする。
7. 第 30 回東北理学療法学会
 - ・平成 24 年 11 月 17～18 日，青森文化会館を会場に開催予定，企画案も出来つつある。ただ，この度の大震災により今後の動向がどうなるか不明確である。

※今後の対応については，東北ブロック緊急対策会議後に再度検討することとする。
理事会は，4 月 23 日（土）東北メディカル学院での予定。

第35回青森県理学療法士学会のご案内（第5報）

学会長 小島 俊夫
準備委員長 長谷川 至

東北の太平洋沿岸に甚大な被害を与えた東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された地域の皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この災害により、第35回青森県理学療法士学会の3月開催は中止となりました。講師、座長をお引き受け下さいました先生方、ならびに学会参加、発表を予定されていた会員の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

地震直後に発生した津波が、その地域で豊かな恵みと信頼度の高い製品を生み出してきた農業、漁業、工業、風光明媚な景勝の地、文化遺産を含めた観光の各産業に大きな被害を与えました。多くの尊い命、健康が奪われた悲しみ、故郷を失うかも知れない被災者の不安に、私たちも心を痛めています。さまざまなネットワークを通じて「災害弱者」への援助、高齢者、障がい者が「動かない」状態が続き、心身の機能が低下する「生活不活発病」の予防が呼び掛けられています。

楽観できない状況が続いていますが、一般社団法人青森県理学療法士会会長はじめ理事の皆さま、学会運営委員と協議した結果、第35回青森県理学療法士学会を予定より規模を縮小して開催することとなりました。テーマ“質の高い理学療法を探る～心が動けば身体も動く～”はこれまで掲げてきた通りです。発表形式はすべて“口述”に統一しました。演者の皆さまのご協力にお礼申し上げます。

本学会の骨格であった“特別講演”“記念講演”が実現できなかったことは残念に他なりません。しかし、未曾有の災害に直面している今、地域で生活することを支えてきた機能を再構築するために私たちの仲間が支援にあたっていることは誇りにしたいと思います。海外からも被災者の尊厳再獲得、思想や信仰の精神活動、医療、介護といった関連する分野の救済が広がっています。学会を成功させるために、皆さまのご協力が必要です。この事をお願いしてご案内とさせていただきます。

<開催要項>

会 期：平成23年6月19日（日）
会 場：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟 第22・23・24講義室
内 容：一般演題（口述）のみ
タイムスケジュール： 8：00～ 受付
9：00～9：20 開会式
9：30～10：40 口述Ⅰ・Ⅳ
10：50～12：00 口述Ⅱ・Ⅴ
12：05～12：30 平成22年度学術奨励賞表彰式
次期学会長挨拶
13：30～14：40 口述Ⅲ・Ⅵ
14：45～15：00 閉会式

※内容の詳細につきましては、同封のプログラムと、すでに送付されております抄録集をご参照下さい。

問い合わせ先：第35回青森県理学療法士学会準備委員長 長谷川 至
〒036-8076 弘前市境関字西田59-1
弘前記念病院リハビリテーション部内
TEL 0172-28-1211（代） E-mail pthase2005@yahoo.co.jp

支部活動報告

＝西北五支部＝ ＜西北五支部総会報告＞

白生会胃腸病院 外崎 和朋

平成 23 年 4 月 7 日（木）pm6：00 より五所川原市立西北中央病院にて、西北五支部の総会が開催されました。西北五支部会員は総会に対するモチベーションが高く、出席率は 8 割、委任状を加えると 9 割の参加となりました。議題には、役員の変更もありました。平成 23 年度からは対馬新支部長を中心とした体制がとられることになりました。支部会員一同、対馬支部長の強烈なリーダーシップとカリスマ性に期待するとのことで、意見が一致しました。今年の西北五支部は注目ですよ。

新役員は以下のとおりです。

支部長	對馬 浩志（五所川原市立西北中央病院）
副支部長	古木名 寿登（誠仁会尾野病院）
事務局長	外崎 和朋（白生会胃腸病院）
学術担当	幡野 克仁（誠仁会尾野病院）
福利厚生担当	高橋 尚裕（高橋整骨院）
ニュース担当	高橋 美保（五所川原市立西北中央病院）
監事	栗林 輝生（鯨ヶ沢町立中央病院）
監事	野宮 隆志（白生会緑風苑）

よろしくをお願いします。

＝下北支部＝ ＜下北支部忘年年度に参加して＞

むつりハビリテーション病院 浅石 健太

平成 23 年 3 月 5 日、下北支部の忘年度会に参加しました。支部内の病院や施設から多くの先生方が参加されており、私も楽しい時間を過ごさせていただきました。その席では、私が普段から疑問に思っていたことを聞くことが出来たり、理学療法の基礎・専門知識のお話を学ぶことが出来たり、各施設や病院の患者様や利用者様のいろんな情報を多くの先生方から聞くことが出来たりと、本当に貴重な時間を過ごすことができました。今回の貴重な経験を生かし、今後もっと勉強し頑張っていきたいと考えています。今後ともよろしくをお願いします。最後に貴重なご意見やアドバイスを下さりました先生方に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



研修会のご案内

平成23年度 青森県理学療法士会主催 特別講習会のご案内（第1報）

学術局研修部長 梅村 孝博

平成 23 年度本土会主催特別講習会の開催は 3 回を予定しております。現在、各担当講師と調整・検討中ですが、現時点での決定または予定事項を掲載します。今後、講習会に関する変更または最新情報は、県士会ホームページにも随時掲載していきますのでそちらでもご確認ください。

【テーマ1】

テーマ : 「腰痛症に対する理学療法評価と治療 –そのポイントとコツー」 (予定)

講師 : 青木 一治氏

(名古屋学院大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授)

開催日時 : 平成 23 年 6 月 4 日 (土) 14:30 ~ 18:00 (14:00 受付)

5 日 (日) 9:00 ~ 15:00 ※全 6 コマ (座学・実技) を予定

開催場所 : 青森県立保健大学校舎 (予定)

講習会要旨 : 非特異的腰痛 (いわゆる腰痛症) は日々の臨床において遭遇しやすい疾患です。しかしながら、いざ患者様を評価してみると、その病態の複雑さからか治療の選択に難渋した経験をお持ちの先生は少なからずみえるのではないのでしょうか。器質的な変化のない非特異的腰痛といえども、何らかの腰痛発生原因はあるはずです。そこで、本講習会では、腰痛の原因を評価し、治療法の選択までのプロセスを、私の研究を含めながらお話できればと考えています。

定員 : 30 名程度 ※事前登録要

受講費 : 3,000 円

◎懇親会

日時 : 6 月 4 日 (土) 講習会終了後開催予定

場所 : 青森市中心街を予定 ※詳細 (時間、場所など) は後日連絡

懇親会費 : 4,000 円程度 (予定)

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくは FAX にてお申し込みください。

①講習会名 ②氏名 (フリガナ) ・性別 ③所属先 ④所属先の TEL・FAX・E-mail

⑤経験年数 (〇年目) ⑥情報交換会の出欠 ⑦公文書必要の有無

申込先 : 〒 039-1522 青森県三戸郡五戸町苗代沢 3-6 東北メディカル学院 梅村孝博

TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail : pt.umemura@rinken.ac.jp

※講習会に関するお問い合わせは上記連絡先で受付致します。

申込開始・締切日 : 平成 23 年 3 月 22 日 (火) ~ 5 月 20 日 (金) 17:00

※受講決定通知及び講習会の詳細につきましては、決定次第、メール等でご連絡します。

※受講者が定員を超えた場合、こちらで各所属病院または支部ごとで人数を調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

【テーマ2】

テーマ : 「介護保険の今後の動向と訪問リハビリにおける現状の制度と臨床」 (予定)

講師 : 張本 浩平氏

(コメディカルスタッフへのセミナーと訪問看護の合同会社 gene 代表 理学療法士)

開催日時 : 平成 23 年 7 月 24 日 (日) 10:00 ~ 16:00 (9:30 受付)

※全 3 コマ (座学のみ) を予定

開催場所 : 弘前大学大学院 (予定)

講習会要旨 : 平成 24 年に医療保険・介護保険の同時改定がある。訪問リハビリステーション複合型サービスの導入など検討事項は沢山あり、我々理学療法士にも多大な影響があると予想できる。今回の講義では、次回の改定の論点の整理を中心に行い、その中で理学療法士が特に関わることの大きい訪問リハビリの制度の現状と課題についてお話をします。そして、制度と今後の長期的な介護保険の展望に立ち、我々の臨床に対する姿勢をどのようにして行くのかをお話したいと思う。

対象・定員 : 対象－理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
定員－ 50 名程度 **※事前登録要**

受講費 : 県士会員－ 1,000 円, 士会員外－ 2,000 円

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくは FAX にてお申し込みください。

- ①講習会名 ②氏名(フリガナ)・性別 ③所属先 ④所属先の TEL・FAX・E-mail
⑤経験年数(○年目) ⑥公文書必要の有無

申込先 : 〒 039-1522 青森県三戸郡五戸町苗代沢 3-6 東北メディカル学院 梅村孝博
TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail pt.umemura@rinken.ac.jp

※講習会に関するお問い合わせは上記連絡先で受付致します。

申込開始・締切日 : 平成 23 年 3 月 22 日(火)～7 月 1 日(金) 17:00

※受講決定通知及び講習会の詳細につきましては、決定次第、メール等でご連絡します。

※受講者が定員を超えた場合、こちらで各所属病院または支部ごとで人数を調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

その他 : 本講習会は公開講座となっておりますので、多くの受講申し込みが予測されますのでお早めにお申し込みください。また、士会員外の作業療法士、言語聴覚士からも広く公募しますので、お近くの職員の方々にも情報提供をお願いします。

【テーマ3】

テーマ : 「呼吸器系」(予定)

講師 : 岸川 典明氏(愛知医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士)
上村 洋充氏(大阪鉄道病院 リハビリテーション技師長 理学療法士)

開催日時 : 平成 23 年 10 月 1 日(土)～2 日(日)

開催場所 : 東北メディカル学院(予定)

定員 : 30 名程度 **※事前登録要**

受講費 : 3,000 円

◎情報交換会

日時 : 10 月 1 日(土)講習会終了後開催予定

場所 : 八戸市中心街を予定 **※詳細(時間, 場所など)は後日連絡**

懇親会費 : 4,000 円程度(予定)

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくは FAX にてお申し込みください。

- ①講習会名 ②氏名(フリガナ)・性別 ③所属先 ④所属先の TEL・FAX・E-mail
⑤経験年数(○年目) ⑥情報交換会の出欠 ⑦公文書必要の有無

申込先 : 〒 039-1522 青森県三戸郡五戸町苗代沢 3-6 東北メディカル学院 梅村孝博
TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail pt.umemura@rinken.ac.jp

※講習会に関するお問い合わせは上記連絡先で受付致します。

申込開始・締切日 : 平成 23 年 5 月 23 日(月)～9 月 16 日(金) 17:00

※受講決定通知及び講習会の詳細につきましては、決定次第、メール等でご連絡します。

※受講者が定員を超えた場合、こちらで各所属病院または支部ごとで人数を調整させていただく場合もございますので、ご了承ください。

※その他は現在調整中ですので、決まり次第県士会ホームページに掲載予定です。

平成23年度 日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会のご案内（第1報）

学術局研修部長 梅村 孝博

平成 23 年度本土会担当します協会主催理学療法士講習会(基本編)の開催は 2 回を予定しております。
本講習会(基本編)は、協会の基本方針から原則協会会員歴 5 年未満が対象となりますが、5 年以上の協会会員でも受付けます。ただし、その後の受講申し込み者が定員を超えた場合、5 年以上の会員を優先的にお断りする場合がございますので、ご理解の上、お申し込み下さい。

今後、本講習会に関する変更または最新情報は、県士会ホームページにも随時掲載していきますのでそちらでもご確認下さい。

【講習会1】

講習会名 : 下肢関節疾患の理学療法 ～関節運動へのアプローチ～

講師名(所属) : 市橋則明氏(京都大学大学院)、永井聡氏(広瀬整形外科リウマチ科)
対馬栄輝氏(弘前大学大学院)、石田水里氏(鳴海病院)

日 時 : 平成 23 年 9 月 10 日(土)～11 日(日)

会 場 : (学)臨研学舎 東北メディカル学院 1 階講堂(予定)

内 容 : 下肢関節疾患(主に変形性膝・股関節疾患)の病態運動学から多関節運動連鎖の障害に基づいた理学療法評価、生体力学的見地の姿勢・動作分析へ生かすための基礎知識を解説する。各論として、膝関節疾患、股関節疾患に対する治療の基本的考え方について述べる。

受講費 : 3,000 円

定 員 : 120 名

申込開始日 : 平成 23 年 4 月 18 日(月)

申込締切日 : 平成 23 年 7 月 22 日(金)

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくは FAX にてお申し込みください。

- ①講習会テーマ ②氏名(フリガナ) ③所属(士会・勤務先・〒・勤務先住所・電話番号)
- ④経験年数(〇年目)または免許取得年度 ⑤県コード(1～47) ⑥会員番号(5桁)
- ⑦情報交換会の出欠

申 込 先 : (学)臨研学舎 東北メディカル学院 梅村 孝博

TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034 E-mail umetakapt@yahoo.co.jp

※本土会主催特別講習会の申し込み先アドレスと異なりますので御注意ください。

そ の 他 : 受講可否及び詳細については、後日メールにてご連絡します。定員を超える場合、締切日前に受付終了とさせて頂く場合もございますので、お早めに申し込み下さい。

【講習会2】

講習会名 : 脳解剖学および運動学的思考に基づく脳卒中理学療法の展開

講 師 名(所属) : 吉尾雅春氏(千里リハビリテーション病院)、阿部浩明氏(広南病院)

日 時 : 平成 23 年 11 月 19 日(土)～20 日(日)

会 場 : (学)臨研学舎 東北メディカル学院 1 階講堂(予定)

内 容 : 運動療法の実践には解剖学的知識の活用は欠かせない。本講習会では脳解剖学や運動学を整理し、急性期と回復期の脳卒中者に対する理学療法において、それらの知見を評価・治療へ展開する過程を事例紹介を含め教示する。

受講費 : 3,000 円

定 員 : 100 名

申込開始日 : 平成 23 年 4 月 18 日(月)

申込締切日 : 平成 23 年 9 月 30 日(金)

申込方法 : 下記の必要事項記入の上、メールもしくはFAXにてお申し込みください。

- ①講習会テーマ ②氏名(フリガナ) ③所属(士会・勤務先・干・勤務先住所・電話番号)
④経験年数(〇年目)または免許取得年度 ⑤県コード(1~47) ⑥会員番号(5桁)
⑦情報交換会の出欠

申込先 : (学)臨研学舎 東北メディカル学院 菊池 修一

TEL: 0178-61-0606 FAX: 0178-61-0034 E-mail: s_kikuchi411@yahoo.co.jp

※申込先の担当者、アドレスが他の講習会と異なりますので御注意ください。

その他 : 受講可否及び詳細については、後日メールにてご連絡します。定員を超える場合、締切日前に受付終了とさせて頂く場合もございますので、お早めに申込ください。

平成23年度 青森ボバース研究会研修会のご案内

メディカルコート八戸西病院 齊藤 紘子

日時: 平成23年6月4日(土) 14:00~18:00 (13:30受付)

6月5日(日) 9:00~12:00

場所: メディカルコート八戸西病院 3階リハビリテーション室

定員: 60名

テーマ: 『成人片麻痺患者の手の評価と治療』

講師: 佐藤 博志 先生 (栃内第二病院 理学療法士 IBITA 基礎講習会インストラクター)

受講費: 青森ボバース研究会会員 2,000円 非会員 3000円 (1日・両日参加とも一律となります)

*1日目終了後、八戸市内にて懇親会を行う予定です(会費 5,000円を予定)。

申し込み方法: 下記必要事項を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。FAX の書式は日本ボバース研究会ホームページ『勉強会案内』からもダウンロードできます。

申し込み受付期間: 平成23年4月25日(月)~5月13日(金) 必着

記入事項: 件名に『青森ボバ研申込み』と記入

- ①氏名(フリガナ) ②施設名 ③職種 ④経験年数 ⑤基礎講習会を受講していればその年度
⑥参加希望日(両日 or 4日のみ or 5日のみ) ⑦懇親会参加の有無

E-mail otsilver@sg-silver.or.jp FAX 0178-28-4137

備考:

- 参加希望者が多数の場合、青森ボバース研究会会員および両日参加者を優先とし選考とさせていただきます。先着順ではありませんのでご了承ください。受講の可否は申し込み受付終了後、FAX または E-mail にてご連絡します。
- 受講費は事前振込みとなります。振込み先は受講決定後に連絡します。

各部局通信

【事務局通信】

事務局長 後藤 明教

勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により、会員登録に変更が生じた場合は、会員異動届（協会ホームページよりダウンロード可）に必要事項を記入の上、士会事務局まで送付して下さい。また、協会の機関誌が届いていない場合は、士会事務局へお問い合わせ下さい。

会員動向（平成23年2月13日～平成23年4月18日）

＝会員異動＝

県内異動会員（25名）

橋本 修一	旧勤務先：敬仁会病院 新勤務先：青森慈恵会病院	浅利 尚美	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
山内 茂寛	旧勤務先：津軽保健生活協同組合健生病院 新勤務先：津軽保健生活協同組合健生クリニック	大崎 智之	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
藤原 留美	旧勤務先：津軽保健生活協同組合健生病院 新勤務先：津軽保健生活協同組合健生クリニック	木立 抄織	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
岩館 裕美	旧勤務先：メディカルコート八戸西病院 新勤務先：はちのへ西脳神経クリニック	古川 優希	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
鈴木 聖子	旧勤務先：自宅会員（西北五支部） 新勤務先：（医）済生堂増田病院	今 理美	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
宮本 和明	旧勤務先：湊病院 新勤務先：自宅会員（八戸支部）	齋藤 拓也	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
奈良 剛	旧勤務先：芙蓉会村上病院 新勤務先：自宅会員（青森支部）	佐藤 康子	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
福山 梨菜	旧勤務先：八戸市立市民病院 新勤務先：自宅会員（八戸支部）	相馬 千尋	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
葛西 弘司	旧勤務先：メディカルコート八戸西病院 新勤務先：外ヶ浜国保外ヶ浜中央病院	遠嶋 和美	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
関 貴子	旧勤務先：東北メディカル学院 新勤務先：八戸市立市民病院	三浦 有貴	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
三浦 時男	旧勤務先：自宅会員（上十三支部） 新勤務先：さとの整形外科クリニック	村上 緑	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
横浜 俊和	旧勤務先：南部町国民健康保険名川病院 新勤務先：八戸在宅クリニック	宮川 舞子	旧勤務先：介護老人保健施設つがる 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
貴田 貴子	旧勤務先：黎明郷リハビリテーション病院 新勤務先：介護老人保健施設つがる		

転入会員（6名）

柳澤沙和恵	旧勤務先：北海道士会 新勤務先：青森慈恵会病院	世永 真紀	旧勤務先：埼玉県士会 新勤務先：ときわ会病院
伊藤 千晶	旧勤務先：岩手県士会 新勤務先：自宅会員（津軽支部）	高見 彰淑	旧勤務先：秋田県士会 新勤務先：弘前大学大学院保健学研究科
国光 康雄	旧勤務先：宮城県士会 新勤務先：なかざわスポーツクリニック	森 奈津子	旧勤務先：京都府士会 新勤務先：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

転出会員（8名）

- 村木 貴子 旧勤務先：青森慈恵会病院
新勤務先：秋田県士会
- 松本 知也 旧勤務先：独立行政法人国立病院機構青森病院
新勤務先：秋田県士会
- 藤本 修平 旧勤務先：津軽保健生活協同組合健生病院
新勤務先：千葉県士会
- 中嶋 静香 旧勤務先：津軽保健生活協同組合健生病院
新勤務先：東京都士会
- 渡邊 和貴 旧勤務先：八戸城北病院
新勤務先：岩手県士会
- 羽場 俊広 旧勤務先：ひがし整形外科リハビリテーションクリニック
新勤務先：石川県士会
- 山崎 悠史 旧勤務先：津軽保健生活協同組合健生病院
新勤務先：群馬県士会
- 永井 弥生 旧勤務先：自宅会員（上十三支部）
新勤務先：岐阜県士会

改姓会員（2名）

- 山田（旧姓 西岡） 恵 鷹揚郷腎研究所弘前病院
山田（旧姓 船橋） 亜由美 自宅会員（西北五支部）

休会会員（4名）

- 山本 綾子 自宅会員（八戸支部）
宮本 和明 自宅会員（八戸支部）
福山 梨菜 自宅会員（八戸支部）
今 千佳子 自宅会員（青森支部）

退会会員（3名）

- 藤田 貴志（平成 23 年 3 月 31 日付 津軽支部）
佐藤 琢磨（平成 23 年 3 月 31 日付 西北五支部）
須藤 輝陸（平成 23 年 3 月 31 日付 八戸支部）

施設名変更（2件）

- 障害者支援施設千歳園（旧施設名：身体障害者療護施設千歳園）
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター（旧施設名：弘前脳卒中センター）

（敬称略）

【財務部通信】

会費未納者について

該当する方は、協会より発送する通知書を見て振込して下さい。

領収証の発行について

協会事務局より発行可能です。引落後に発行しますので、必要な会員は協会事務局まで会員番号・氏名・金額を御連絡下さい。同施設の会員には、まとめて送付します。

日本理学療法士協会事務局 会費担当：西川 忍まで

協会ホームページ内 お問い合わせ jpta@i.bekkoame.ne.jp より依頼して下さい。

不明な点は

事務局 財務担当理事

同仁会浪打病院 リハビリテーション科
佐井川 匠秀

E-mail reha@namiuchi-hp.com

(リハ科全体アドレスのため本文中に宛名必要)

TEL 017-741-4341 FAX 017-743-3094

財務担当

国立病院機構 弘前病院 理学療法室
佐藤 洋

E-mail ptsato@hirosaki-lan.hosp.go.jp

TEL 0172-32-9968 (直通)

【ニュース編集部通信】

原稿受付に関するお知らせ

◎原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、下記の各支部担当者に E-mail、FAX のいずれかにて送付して下さい。また、各支部担当者の連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。

★西北五支部担当が五所川原市立西北中央病院の高橋美保先生に変更になりました。お間違いのないようお願い致します。

なお、ご不明な点につきましては、編集部長または各支部担当者までお問い合わせ下さい。

次回の原稿締切日：平成23年6月20日（月曜日）

★ホームページにも情報が掲載されております★

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.ptaomori.org/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

●会員の皆様は、自分の支部のニュース編集部員をご確認の上、原稿をお送り下さい。

青森支部：新山 典子（あおり協立病院）

〒 030-0847 青森市東大野 2-1-10 TEL 017-762-5500 FAX 017-729-3260
E-mail kyouritupt@gmail.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

八戸支部：田中 賢幸（メディカルコート八戸西病院）

〒 039-1103 八戸市長苗代字中坪 77 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962
E-mail ptsilver4000@sg-silver.or.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

津軽支部：神 亜季子（ときわ会病院）

〒 038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田 2-1 TEL 0172-65-3771 FAX 0172-65-3773
E-mail h06gg403@yahoo.co.jp

西北五支部：高橋 美保（五所川原市立西北中央病院）

〒 037-0053 五所川原市布屋町 41 TEL 0173-35-3111 FAX 0173-35-0009
E-mail rehapt@seihoku-hosp.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

上十三支部：清水 涼子（十和田市立中央病院）

〒 034-0093 十和田市西 12 番町 14-8 TEL 0176-23-5121 FAX 0176-23-2999
E-mail rihabiri@hp-chuou-towada.towada.aomori.jp

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

下北支部：四ツ谷 隆輔（東通村診療所）

〒 039-4222 下北郡東通村砂子又字里 17-2 TEL 0175-28-5111 FAX 0175-28-5601
E-mail higashi.pt@e-nohana.com

（リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要）

広報局ニュース編集部長：藤田 俊文（弘前大学大学院保健学研究科）

〒 036-8564 青森県弘前市本町 66-1 TEL 0172-39-5981 (直通&FAX 兼用)
E-mail pttoshi@cc.hirosaki-u.ac.jp

編集委員：山田 克彦（国立病院機構弘前病院）

原田 久美子（黒石病院）

對馬 新吾（ときわ会病院）

中村 学人（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

宮川 舞子（弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

金子 奈南夏（ときわ会病院）

広報局ホームページ担当：山谷 光仁（十和田市立中央病院）

E-mail mitsuhito@nifty.com

編集後記

東北地方太平洋沖地震により被災された方におかれましては、謹んでお見舞いを申し上げます。被災地の皆さまがいち早く復興できるよう心よりお祈り申し上げます。

年度替りのいろいろとお忙しい時期に甚大な震災があり、何かと慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。ところで、今年度の PT 合格率は 74.3 % となり驚かれた方も多いのではないのでしょうか。話によると、来年度はさらに低くなるとかならないとか…

さて、県士会ニュースでは会員の皆様へ青森県理学療法士会の現状や活動、研修会などの情報を隔月でお伝えしております。しかしながら、2 ヶ月に 1 回であるため皆様のお手元に届く頃には期日間近の研修会や講習会の情報が届くこともあります。そのため、出来る限りホームページを事前にご確認いただければ最新情報が掲載されておりますので、そちらもご活用いただければと思います。掲載したい原稿がある場合も、隔月であることを考慮して原稿を送って頂けると幸いです。また、今年度は会員の皆様にとって役立つ情報を「シリーズ」として掲載していきたいと考えております。もし、会員の皆様で何か掲載したいネタ（記事）がございましたら、いつでもご相談下さい。

もし、なにかお気づきの点がありましたら、気兼ねなくニュース編集部長か支部担当までご連絡いただければと思います。それでは、今年度もよろしくお願い致します。

(文責：藤田)

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局 鱒ヶ沢町立中央病院リハビリテーション科内

〒038-2761 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町舞戸町字浦生 110-1

TEL・FAX 0173-72-5860

E-mail aomori-rigakukai@ptaomori.org